



第7次足利市総合計画 達成調書（H28～R3）

令和4（2022）年8月

足利市 総合政策部 総合政策課



目 次

第7次足利市総合計画 指標達成状況	P. 3
戦略プログラム プロジェクト1 結婚・子育て・学びあいプロジェクト	P. 4
戦略プログラム プロジェクト2 元気なしごとづくりプロジェクト	P. 5
戦略プログラム プロジェクト3 まちの魅力発信プロジェクト	P. 6
戦略プログラム プロジェクト4 映像のまち構想プロジェクト	P. 7
戦略プログラム プロジェクト5 スマートウェルネスシティプロジェクト	P. 8
戦略プログラム プロジェクト6 公共施設の最適化プロジェクト	P. 9
分野別計画1 教育・文化	P. 10
分野別計画2 産業・観光	P. 13
分野別計画3 健康・福祉	P. 16
分野別計画4 都市基盤	P. 19
分野別計画5 環境・安全	P. 22
分野別計画6 都市経営	P. 24

達成状況における検証

本市では、「学びあい つながりあい 元気に輝く都市（まち） 足利 ～ひとをつくり、産業をつくり、まちをつくる～」を将来都市像に掲げ、平成28（2016）年度からの6年間まちづくりを推進してまいりました。

将来都市像の実現に向け、具体的な施策を明らかにした基本計画は、行政の分野や組織にあわせて体系化した6つの「分野別計画」とそこから抽出した特に重要な事項で、組織横断的に設定した6つの「戦略プログラム」で構成されています。

「結婚・子育て・学びあいプロジェクト」では、安心して結婚・出産・子育てができるまちづくりや教育の推進のため、支援制度や相談体制の拡充等を行いました。年間婚姻件数をはじめ良好とはいえない達成状況であり、切れ目のない子育て支援など若い世代の定住のためさらなる充実が必要です。

「元気なしごとづくりプロジェクト」では、製造業に関する指標が好調であり産業力のさらなる向上のため産業団地の開発や企業誘致に取り組む一方、創業・就労・就農に関しては、多様な働き方の促進や担い手の確保を進め、活力みなぎるまちづくりへつなげる必要があります。

「まちの魅力発信プロジェクト」では、コロナ禍の影響もあったものの観光関連の指標をはじめとしておおむね好調であり、引き続き地域資源の磨き上げとシティプロモーションにより、シビックプライドの醸成と関係人口の創出や移住・定住の促進を図ります。

「映像のまち構想プロジェクト」においてもコロナ禍の影響はありましたが、市内外における取組の認知度や来訪者数は増加しており、今後もロケ地のPR等により観光誘客の促進を行います。

「スマートウェルネスシティプロジェクト」では、健康づくりに取り組む雰囲気醸成の結果、健康寿命の延伸が見られました。今後も健康づくりの意識を高める取組を通し、健康で暮らせるまちづくりを進めていきます。

「公共施設の最適化プロジェクト」では、消防本部の整備のほか施設の供用廃止や公民連携にも取り組みました。引き続き人口減少の中でも持続可能な公共サービスを提供できるよう施設総量の適正化・適正配置に取り組んでいきます。

また、分野別計画を含めた基本計画全体の全160指標の達成状況を見ると、50の指標で目標を達成しています。さらに、一時でも目標を達成したものや基準値を上回ったものを含めた比率は約78.8%となることから、コロナ禍による社会情勢の混乱やそれに伴う指標の悪化も見られたものの、一定の成果をあげたものと考えられます。しかしながら、人口減少が本格化し、市民生活を取り巻く環境が大きく変化する中で、地域の課題は多様化・複雑化しています。それらの課題に対処し持続可能なまちづくりを進めていくためには、この6年間の成果・反省を踏まえ、かつ、新たな「挑戦」の視点を盛り込んだ施策を進めていく必要があります。今後は毎年度総合計画の検証を行い、PDCAサイクルをより徹底することで、市民のニーズや社会情勢を反映した事業を展開してまいります。

第 7 次足利市総合計画 指標達成状況



= R03(2021)年度時点で、目標値 [R3(2021)] を達成した



= R03年度時点で、基準値[H26(2014)]より向上した(維持を含む)が、目標値[R3(2021)]を下回った



= R03(2021)年度時点で、基準値 [H26(2014)]を下回った



= 期間中一時、目標値[R3(2021)]を達成したが、R03(2021)年度時点で目標値を下回った



= 期間中一時、目標値[R3(2021)]に到達したが、R03(2021)年度時点で基準値[H26(2014)]を下回った

項 目		指標数						直近実績値なし		
戦略プログラム	1 結婚・子育て・学びあいプロジェクト	7	2	28.6%	3	42.9%	2	28.6%	0	0.0%
	2 元気なしごとづくりプロジェクト	7	1	14.3%	2	28.6%	3	42.9%	1	14.3%
	3 まちの魅力発信プロジェクト	6	2	33.3%	3	50.0%	1	16.7%	0	0.0%
	4 映像のまち構想プロジェクト	2	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
	5 スマートウェルネスシティプロジェクト	6	1	16.7%	5	83.3%	0	0.0%	0	0.0%
	6 公共施設の最適化プロジェクト	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分野別計画	1 教育・文化 (全9節)	26	6	23.1%	9	34.6%	11	42.3%	0	0.0%
	2 産業・観光 (全6節)	26	8	30.8%	7	26.9%	10	38.5%	1	3.8%
	3 健康・福祉 (全6節)	24	5	20.8%	12	50.0%	7	29.2%	0	0.0%
	4 都市基盤 (全10節)	25	14	56.0%	8	32.0%	3	12.0%	0	0.0%
	5 環境・安全 (全6節)	22	8	36.4%	10	45.5%	4	18.2%	0	0.0%
	6 都市経営 (全6節)	9	2	22.2%	4	44.4%	3	33.3%	0	0.0%
合 計		160	50	31.3%	64	40.0%	44	27.5%	2	1.3%








戦略プログラム プロジェクト1

結婚・子育て・学びあいプロジェクト

目 1 未来を担う若い世代が、安心して結婚・出産・子育てができるまちづくりを進めま
す。
的 2 子どもが、いきいきと学び育つ環境づくりを推進します。

取組 1 結婚の希望を叶えるまちづくりの推進 2 子どもを産み育てやすいまちづくりの推進 3 豊かな心と主体性をはぐくむ教育の推進

- 主
な
事
業
- こども医療助成事業
 - 不妊・不育症治療費助成事業
 - 学校支援派遣事業
 - 放課後児童健全育成事業
 - 産後ママ安心サポート事業
(産婦健診・産後ケア事業)
 - 英語教育推進事業
 - 子ども家庭総合支援拠点事業
 - 公園施設整備事業(公園施設長寿命化対策)
 - 学力向上・指導力強化支援事業

主 な 指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針	
年間婚姻件数 ★	組	684	625	562	551	582	473	463	750		県と連携した結婚支援センターを令和2(2020)年度より開所したものの、コロナ禍で予約枠を減らしての対応となった。オンライン化をはじめセンターの支援体制を充実するなどし、出会いの機会の提供に努める。	
【市民アンケート】子どもを産み育てる取組の満足度 ★	ポイント	3.24	3.12	3.25	3.36	3.38	3.40	3.41	3.50		子育て世代包括支援センター事業や保健師・保育士等の専門職による相談体制など切れ目ない支援を実施した。今後も保健師等をコーディネーターとした支援やこども医療費助成の窓口無償化の対象年齢の拡大など更なる充実を図る。	
【市民アンケート】仕事と子育ての両立支援の満足度 ★	ポイント	3.21	3.16	3.30	3.38	3.35	3.37	3.41	3.50		徐々に企業(事業者)に「仕事と子育ての両立」についての意識が根付いてきている。今後も企業(事業者)に対する啓発に努め、両立支援の環境整備を勧奨していく。	
学校の授業以外で1日に30分以上読書をする児童・生徒の割合 ★	小学校	%	36.1	34.40	33.70	37.80	39.1	—	37.2	40.0		学校図書館指導員の巡回訪問により、子供が自ら本を手にする意欲を高めることができるよう、新刊圖書の整備や、配架の工夫、読み聞かせなどの活動を行ってきた。また、今後、タブレット端末に登録した市立図書館ホームページのブックマークの活用を授業で紹介するなど、学校図書館と市立図書館の連携を推進していくことで、自ら本を読む子どもを育てていく。
	中学校	%	32.6	26.20	27.30	29.70	27.7	—	27.3	36.0		
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができる児童・生徒の割合 ★	小学校	%	37.2	—	37.90	45.30	54.2	—	52.9	43.0		コロナ禍により、地域等での活動が制限され、具体的な活動場数が減少する中ではあったが、地域の一員として自分や社会について考える機会が増えたため、実績値が上がったと考えられる。今後も、地域で活動する機会を大切にしながら、地域の一員であるとの自覚を持ち、社会について主体的に考える児童生徒の育成に努める。
	中学校	%	28.7	—	31.20	34.50	39.8	—	44.8	34.0		

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。







戦略プログラム プロジェクト2

元気なしごとづくりプロジェクト

- 目 1 若い世代が就労・結婚・子育ての希望を実現できる雇用の場を創出します。
 2 ワーク・ライフ・バランスのとれた職場環境づくりを支援し、市内企業の競争力を高めます。
 3 産学官金の連携を推進することにより、地域経済を活性化します。

取	1 企業誘致の推進	2 チャレンジしやすい環境整備、 稼ぐ力・技術力のある産業の育成	3 強い農業の育成
組	4 新たな働き方、人材確保支援	5 元気な地場産業、サービス産業の育成	

主 な 事 業	○ 市内企業等地域人材確保事業	○ あがた駅南産業団地企業誘致優遇策事業	○ 新規就農塾開催事業
	○ 地域商店街活性化支援事業	○ 次世代農業強化支援事業	○ 南部地域土地改良事業
	○ (仮称) あがた駅北産業団地開発事業		

主 な 指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
企業立地累計件数 ★	件	—	5	9	20	24	26	30	36		産業団地に空きが無い状況となっている。引き続き、産業団地の造成を進めるとともに、関係機関と連携し、民間未利用地等へ企業立地を誘導していく。
創業支援事業計画における年間創業者数 ★	人	65	32	29	22	31	22	28	70		創業希望者は一定数いるものの、様々な要因により創業まで至らないケースが多かった。今後も関係機関と連携し、希望者が創業できるよう努めたい。また、各種支援策の充実を図る。
認定農業者数	人	223	227	226	217	218	212	213	240		農業者の高齢化及び担い手不足により、減少傾向にある。就農相談から一貫した支援体制の充実、家族協定の締結を増やすなど認定者を確保する。
農産物年間販売額 ★	億円	28.0	27.5	26.5	30.5	27.3	28.5	29.2	31.0		生産者の高齢化等に伴い、生産面積や生産者数は年々減少傾向にある。高収量・高品質を図るための生産技術の確立と農業の魅力を発信する等次世代の担い手を確保・育成する。
地元購買率 ★	%	79.9	—	—	—	—	—	—	85.0	—	5年に1度、県の調査が予定されていたが、県の見直しにより実施されなかった。今後も商業団体等への支援を通じ、地元購買率が高まるよう努める。
製造品出荷額等 ★	億円	3,503	3,706	3,886	3,989	3,876	—	—	3,750		新型コロナウイルス感染症や燃料、原材料の価格高騰など社会経済情勢が企業に与える影響は大きい。設備投資に対する支援をはじめ市内企業の成長支援を行い、製造品出荷額の維持、増加に努める。
新規高卒就職者の市内就職率 ★	%	32.6	32.3	25.9	30.0	36.5	27.0	27.9	40.0		令和元(2019)年度に市内就職率が増加したものの、以降はコロナ禍の影響を受け減少した。今後も関係機関と連携し、就労支援を進め、新規高卒就職者の市内就職率を高められるよう努める。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
 ※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

戦略プログラム プロジェクト3

まちの魅力発信プロジェクト

目的

- 1 歴史・文化・自然・風土などの豊かな地域資源を磨き上げ、足利のまちの魅力をさらに高めます。
- 2 おもてなしの心を醸成し、来訪者の満足度の向上を目指します。
- 3 地域の特性を活かしながら、にぎわいと魅力ある快適な都市空間をつくりまします。
- 4 首都圏などからの交流人口を増加させ、足利市への移住・定住につなげます。

取組	1 歴史・文化の魅力向上と活用促進	2 まちの魅力を積極的に活用した観光・交流の推進	3 情報発信の強化
	4 おもてなし意識の醸成	5 地域の景観と調和したにぎわいと安らぎのあるまちの整備	6 移住・UIJターンの促進

主な事業	○ 移住・定住促進事業	○ 地域おこし協力隊事業	○ まちなか賑わい創出事業
	○ 市制100周年記念事業	○ 足利&桐生の広域周遊観光促進事業	○ 足利の魅力発信事業
	○ 夜景観光開発事業（足利灯り物語創出事業）	○ 国内観光プロモーション活動支援事業	○ （仮称）足利スマートIC関連事業
	○ 空き家対策推進事業	○ 山辺西部第一・第二土地区画整理事業	○ 大日西・中央土地区画整理事業
	○ 榊崎寺跡保存整備事業	○ 藤本観音山古墳保存整備事業	○ 足利学校施設整備事業 （第2次保存整備基本計画策定等）

主な指標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
観光客年間宿泊者数 ★	人	26,000	29,703	33,170	31,629	32,271	38,812	34,850	40,000		宿泊者数がコロナ禍における施設の休業及び外出自粛の影響を受ける結果となった。夜景観光開発事業による市内滞留時間の増加や旅行会社へのプロモーションによる旅行商品造成を通じ、宿泊者数増加につなげる。
観光客年間入込数 ★	万人	355	411	475	508	486	300	346	500※		コロナ禍における大規模イベントの中止、外出自粛及び休業要請等の影響により後半3年間は、減少傾向となった。今後は、足利ならではの観光資源をさらに磨き上げ、観光客の満足度向上につなげるとともに、リピーターの定着を図り、観光客の増加につなげる。
観光アシスタント登録者数 ★	人	—	126	137	138	138	132	131	120※		観光アシスタントの活動に市民が触れることで、「観光のまちづくり」に対する市民の意識醸成につながった。市民の協力がしやすい環境を整え、ガイドの活動の幅を広げることにより、市民が直接的に関わる「観光のまちづくり」につなげる。
【市民アンケート】足利市に対する好感度	%	88.2	90.7	91.7	90.1	90.1	92.1	90.2	95.0		足利市の魅力のほか多様な人材・民間企業との連携等をSNSなどで発信していくほか、まちづくりへの市民参画の推進、市民の視点に立った行政サービスの提供を継続し、持続可能なまちづくりの大きな推進力になる市への関心や愛着を強めていく。
【転入者アンケート】足利市に対しての良い印象	%	—	—	67.9	61.9	63.2	70.3	68.7	75.0		地域資源を磨き上げるとともに、より効果的なシティプロモーションを行い、市のブランドイメージや認知度の向上を図り、多くの方に選ばれるまちづくりを進める。
移住相談会等への累計参加者数 ★	人	—	48	84	177	207	237	271	240※		移住定住相談センターの開設により相談者数を増やすことができた。今後は利便性向上のため、東武足利市駅内に移転し、さらなる相談者数の増加につなげる。また、県との連携による各種セミナー等積極的に参加し移住希望者との面会を重ねていく。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。



戦略プログラム プロジェクト4

映像のまち構想プロジェクト

- 目的
- 1 「映像」が市民意識に浸透し、風土や文化として息づくまちの実現を目指します。
 - 2 「映像」をコンセプトとした、新たな観光・産業を振興します。
 - 3 「映像」に関する拠点づくりを進めます。

- 取組
- 1 有識者や映像関係者の協力と市民参加の促進
 - 2 新たな観光・産業の振興
 - 3 映像に関する拠点施設の誘致・整備

- 主な事業
- 映像のまち構想事業
 - ロケーション誘致補助事業
 - あしかが映像まつり開催事業

主な指標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
【市民アンケート】「映像のまち」の認知度	%	—	66.2	70.0	72.1	74.3	77.3	70.5	85.0		認知度は上昇傾向にあったものの、コロナ禍によるイベント等の中止もあり、その後は伸び悩んだ。今後は、ロケ地を活用したロケツーリズムを推進し、観光客を誘致する。
ロケ隊などの映像関係者やイベント開催による年間来訪者数	人	—	5,739	4,777	8,201	17,120	19,382	8,946	8,500		来訪者数は順調に伸びていたが、コロナ禍によって撮影が中止とより、来訪者数は減少に転じた。今後は、引き続き、映画やドラマの撮影支援を行うとともに、ロケ地を活用したロケツーリズムによって来訪者数を回復させる。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

戦略プログラム プロジェクト5

スマートウェルネスシティプロジェクト

- 目 的
- 1 市民一人ひとりが自ら進んで健康づくりに取り組む雰囲気醸成し、健康寿命を延ばします。
 - 2 住み慣れた地域で健康で生きがいをもって生活できる環境づくりを市民協働で進めます。
 - 3 歩くことの楽しさを感じられるまちづくりを進めます。

取	1 健幸なまちづくりの推進	2 歩きたくなる楽しいまちづくりの推進	3 広報戦略の強化
組	4 推進する体制と人材づくり	5 自動車に依存しない生活への誘導	

主 な 事 業	○ 健幸づくり推進事業	○ まちじゅう・スポーツ健幸ジム事業	○ 健幸アシスト事業
	○ おでかけ創造チャレンジ事業	○ 歩くまち空間創出事業	○ 歩いて健康になる観光地創出事業

主 な 指 標		単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
健康寿命 ★	男 性	年	77.15 (H22)	—	—	78.62 (H28)	—	—	78.24 (R2)	延伸	☀️ ☁️	女性は延伸したが、男性の健康寿命は伸び悩んだ。今後も「高血圧ゼロのまちづくり」を推進し、健康寿命の延伸を図る。
	女 性	年	82.30	—	—	83.15	—	—	83.47			
【市民アンケート】健康づくりを実践している方の割合		%	54.7	46.1	52.2	51.6	49.3	52.3	57.6	62.0	☁️	コロナ禍の影響で令和元(2019)年度の実践割合は減少したが、市民の健康づくりの習慣化は少しずつ根付いてきている。生活習慣6領域(栄養、運動、休養、喫煙、飲酒、歯・口腔)ケアをはじめ、改善指導を充実させ、重症化予防につなげる。
元気アップサークル数 ★		サークル	114	136	144	155	160	161	159	220	☁️	サポーター登録数は微増傾向となった。今後も地域へ運動の普及活動を行うサポーター養成講座を継続し、サポーター自身も生きがいを持って活動できるよう支援する。
健幸マイレージ参加者数 ★		人	—	1,273	2,046	2,033	2,162	4,929	5,319	15,000	☁️	令和2(2020)年度からスマホ版健康マイレージの導入により参加者が急増した。今後も、自然と健康に導かれる仕掛けづくりをとおし、運動の習慣化を図る。
スマートウェルネス推進員数		人	—	599	618	643	653	615	647	800	☁️	コロナ禍で活動内容を縮小しての対応であり、また推進員の高齢化が進み、新しく入る推進員も少なく、この4年間、横ばい傾向である。生活習慣改善推進員令和3(2021)年度で終了としたが、新たに健康アンバサダー(=正しい健康情報を広める人)を養成して事業を進める。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

戦略プログラム プロジェクト6

公共施設の最適化プロジェクト

- 目的
- 1 中・長期的視点から、公共施設の適正な配置と効率的な管理運営を目指します。
 - 2 少子高齢化と人口減少が進む中でも、公共施設マネジメントを推進し、将来にわたり持続可能で利便性の高い公共サービスを提供します。

- 取組
- 1 公共施設等に関するデータの一元管理
 - 2 公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントの推進
 - 3 公共施設マネジメント推進体制の整備

- 主な事業
- 公共施設等適正管理推進事業
 - 新焼却施設等建設事業
 - 斎場再整備事業
 - 消防本部庁舎等建設事業
 - 小学校民間プール等活用事業

主な指標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
指標の設定なし											<p>足利市公共施設等総合管理計画及び再編計画に基づき、公共施設マネジメントに取り組む中で、新医師会館の一部賃借による新保健センターの整備、栃木県足利庁舎への上下水道部の移転、市民活動センター廃止に伴う生涯学習センターの複合化を進めたほか、施設総量の最適化を進めるため、老朽化の進行や利用状況の変化に合わせて、施設の供用廃止を進めた。</p> <p>また、消防本部・中央消防署や斎場、南部クリーンセンター等については、市民生活に直結する重要な施設として、整備に向けた取り組みを着実に進めた。</p> <p>そのほか、小・中学校における民間プールの活用や、松田川ダムふれあい広場の指定管理者を公募に切り替えるなど、公民連携による公共サービスの提供にも取り組み始めた。</p> <p>引き続き各種計画に基づき、施設総量の適正化・適正配置と利便性の高い公共サービスの提供に取り組む。</p>

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画1










教育・文化

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
01 生涯学習											
生涯学習センターの年間利用者数	人	100,199	104,171	99,096	106,777	100,353	59,927	78,175	106,000		緊急事態宣言発令に伴い、施設の休館や利用制限が行われ、また、利用者も活動自粛を行ったことが、令和2(2020)年度以降の利用者が減少した大きな要因である。今後、施設の利便性や安全面を周知し、利用促進に努める。
市民大学あしかが学校の称号等年間授与者数	人	33	31	29	15	20	11	6	39		コロナ禍により、参加できる学級講座や各イベント等が中止や延期になり、また、受講者も人との接触を避けるため活動自粛を行ったことが指標達成できなかったことの原因と思われる。また、若年層の入学者(講座参加者)が増えていないことも考えられるため、今後は、リモート講座を増やすなど若年層への入学増加の検討を行い、コロナ禍でも安心して受講できるよう努める。
市立図書館等の貸出図書数	冊	301,036	303,668	320,251	307,349	307,677	235,305	256,891	319,000		平成29(2017)年度に計画目標値を超えることが出来たが、令和2(2020)年度以降はコロナ禍による来館者の減により実績値が減少してしまった。今後は本の企画展示やSNS・HP等を活用した図書館情報発信の取り組みを通し来館者の増に努め、貸出図書数の増加を図る。
02 義務教育											
小中学校における児童生徒相談員の人数	人	—	11	15	15	78	78	72	66		令和元(2019)年度に学びの指導員と心の教育相談員が統合された。個別の指導が必要な児童生徒が増加している現状を踏まえ、人数を確保していく。
市立小中学校トイレ改修事業実施区画数	区画	—	0	2	4	5	8	10	8		現代の生活様式に合わせ、市立小中学校の便器の洋式化改修を進めた。今後の改修については、他の施設整備の状況等を考慮し、検討していく。
新たに実施する給食献立メニュー数	品	4	6	5	3	7	5	7	5		児童生徒の嗜好や食育の観点を軸に、目標値を上回る事ができた。今後は、学校・家庭と連携し、食物アレルギーへの適切な対応をはじめとする安全・安心な学校給食を引き続き提供する。また、コロナ対策として実施していない生産者との会食会については、感染状況等に配慮しながら進める。
【テストバッテリー】「計画を立てて勉強している」児童生徒の割合	%	24.0	27.0	29.0	25.0	32.0	—	30.0	54.0		家庭学習において、自主的に計画を立てて取り組むことがむずかしい面がある。足利市版「家庭学習の手引き」学びのすずめリーフレットをスマホ等で閲覧し易いようにリニューアルし、家庭への周知とともに家庭と連携しながら、自主学習の習慣化を進める。
【テストバッテリー】「わからない事は休み時間や放課後に先生や友達に聞く」児童生徒の割合	%	17.0	17.0	18.0	16.0	21.0	—	23.0	47.0		授業においては、タブレット端末を活用して意見交換をするなどの学び合いの場が多くなったが、授業時間以外に、直接、先生や友達に質問する姿はあまり増えなかった。今後も、互いに意見や考えを発信し合う学習の場を確保しながら、自らの疑問を授業時間以外にも質問し合えるような人間関係づくりを推進していく。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
 ※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画1

教育・文化

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
03 青少年健全育成											
中学生地区活動ボランティアクラブ登録者数	人	524	744	674	793	824	690	681	580		学校、青少年育成会及びその他の地域団体が活動の場を積極的に提供している。今後もクラブの活躍が期待される中、豊かな学びと体験を通し、ボランティアに対する興味や関心を高め、引き続き活動の場の拡大と充実に努める。
青少年育成指導者登録数	人	16	19	20	20	19	19	19	22		主に青少年育成会経験者の中から指導員を選任しているが、職業や他の地域活動との両立が難しく登録が伸び悩んでいる。今後は、教育関係のボランティア経験者や若い世代で興味・関心のある方に呼びかけるなど新たな担い手の確保に努める。
青少年健全育成のための出前講座の年間参加者数	人	100	210	295	120	120	0	10	160		コロナ禍に伴い、各団体の集会への参加の機会が大きく減少した。しかし、講話の需要が減っているわけではないため、各学校への広報や柔軟な開催形式より、機会を捉え実施し、参加者数の増加を図る。
04 スポーツ・レクリエーション											
一般スポーツ教室修了率	%	78.0	80.0	69.0	74.0	75.4	88.7	86.8	84.0		各教室5回中4回以上出席する事で修了となる。各種目の専門的な講師による工夫をこらした内容で指導にあたるため、初心者でも参加しやすく修了率も伸びている。今後も、多くの市民の興味を引く内容を企画し、市民各層の参加を促進する。
足利市公認スポーツ指導者認定者延人数	人	542	573	599	618	618	618	618	720		指導技術、技能の質を高めるため、4年に1度、対象の講習会を開催し、資格の更新を行っている。スポーツ指導者養成講座が平成31(2019)年度にて終了したため、以降の認定者の増加はなかった。今後も、市民の要求に応じることのできる指導体制を確立するため、指導者やスポーツコーディネーター等を活用していく。
総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	9	9	10	10	10	10	10	12		目標値には届かないものの、既存の10クラブでは同数の会員数を維持し、日々活動を行っている。今後も、市民が自主的にスポーツ・レクリエーション活動を継続して実践できるよう、また、競技力向上のため、総合型地域スポーツクラブへの支援や連携強化を図る。
05 芸術・文化											
市民文化祭年間参加者数	人	2,844	2,753	2,661	2,881	2,194	585	908	2,895		新型コロナのまん延により、文化祭参加を見送った部門があり、参加者は減少している。今後は、感染防止対策を徹底しつつ、文化祭に参加する部門・参加者が増加するよう努める。
芸術文化ボランティア新規登録者数	人	40	44	22	26	0	1	0	45		コロナ禍において各種イベントが中止となったため、ボランティア募集を一時中止した。今後は、各種イベントの実施状況等に応じて募集を再開し、新規登録者の増加に努める。
市立美術館年間観覧者数	人	26,132	59,800	22,174	19,591	24,118	12,178	40,731	26,350		多くの観覧者に来訪してもらえるよう様々な工夫をこらした企画展を実施し、優れた美術品の鑑賞機会を提供した。今後もその方針を継続し、来訪者の増加に努める。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。

※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画1

教育・文化



指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
06 文化財											
文化財案内ボランティア新規登録者数	人	13	2	2	2	11	0	0	10		文化財関係団体との連携を進め、大学生にも募集案内を出したことで、新規登録者が増加した。コロナ禍において文化財公開が中止となったため、ボランティア募集も中止した。今後は、文化財公開事業のあり方の検討に併せ、ボランティアのあり方も検討する。
「文化財一斉公開」公開件数	件	66	63	66	69	67	—	—	75		公開件数はおおむね堅調に推移したが、コロナ禍において開催を中止した。令和3(2021)年度は、公開に代わり文化財紹介動画を制作し、インターネット上に掲載した。今後は、文化財や観光の専門家とも協議し、文化財公開事業のあり方について検討する。
「論語の素読」年間参加者数	人	5,208	4,946	4,785	4,461	3,726	0	1,518	5,500		コロナ禍で参加者数は大きく減少したものの、本事業は満足度が高く足利学校の意義を理解していただくうえで有効である。今後はコロナ対策を講じた上で、本事業をはじめとした体験型事業を継続して行うとともに認知度向上のための情報発信を行う。
07 国内・国際交流											
多文化共生事業の参加者数	人	430	560	474	363	53	112	176	570		コロナ禍でのイベントや講座の中止及び参加者数制限により、参加者数が減少し目標達成には至らなかった。今後も参加者の安全を第一に考え、感染防止対策を行いながら、引き続きイベントや講座を開催し、参加者の増加を図る。
日本語講座の在住外国人学習者累計数	人	1,588	1,250	1,726	1,423	1,639	—	61	2,350		コロナ禍により対面式の講座は令和2(2020)年度は休止となった。翌年度にオンライン対応の講座を新たに開設したが、受講者数を制限しての開催のため、目標達成には至らなかった。今後もコロナ対策を講じた上で外国人のニーズに合わせた講座を開催し、受講者の増加を図る。
08 人権尊重											
講演会・イベントへの年間参加者数	人	6,500	4,837	5,228	3,444	2,295	1,014	990	6,800		コロナ禍や事業の見直しによる開催機会の減少が参加者数に大きな影響を与えた。今後は、講演会以外の出前講座やオンラインによる動画視聴等、時流に沿った方法での啓発を推進していく。
09 男女共同参画											
各種審議会等における女性の登用率	%	34.2	32.7	33.3	33.1	33.5	33.4	34.9	40.0		女性の登用率を向上させるため、団体や地域など市全体で男女共同参画を進めていくことが重要であることから、様々な機会をとらえて意識啓発を進めていく。
【市民意識調査】職場の人事配置や昇進で「平等、ある程度平等」と回答した者の割合	%	44.1	—	—	—	46.9	—	—	50.0		より働きやすい職場環境づくりのため、女性活躍応援講座や男女共同参画セミナーなどを通じて、性別にかかわらず、市民一人ひとりの能力が発揮できるよう意識啓発を推進する。
【市民意識調査】夫婦間等で平手で打つという行為が行われた場合「どんな場合でも暴力にあたる」と回答した者の割合	%	67.4	—	—	—	76.8	—	—	100.0		女性に対する暴力をなくす運動、男女共同参画週間、人権週間等において、DVについての啓発を強化するとともに、広く市民に通報先や相談機関について周知を徹底し、暴力を許さない社会づくりを進める。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。

※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画2

産業・観光

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
01 工業											
製造品出荷額等	⇒戦略プログラム 02 元気なしごとづくりプロジェクト										
中小企業創業支援補助金年間届出件数	件	16	8	16	5	5	5	2	23		個人事業主としての創業が増えていることやコロナ禍で起業の時期をうかがっている様子もあり、利用が減少していることから、新たな補助制度を開始する。今後も関係機関と連携し、創業者の支援に努める。
産業財産権の年間出願件数	件	15	13	10	8	9	18	10	20		産業財産権への意識啓発とともに、知的財産アドバイザーなどと連携した相談体制の強化等の企業の強みを守る支援を引き続き行う。
工業製品展示会などの年間出展企業数	社	28	25	31	28	24	8	9	40		コロナ禍により展示会への出展を見送る企業が多く、令和2(2020)年度以降は大きく数を落とした。今後は、コロナ禍を含む社会情勢に合わせた開催形式の検討等を進めていく。
開発研究（新製品・新商品）等年間助成件数	件	1	3	2	0	0	1	2	2		事業者の開発研究等に係る支援を行うことができた。開発研究は計画時期等事業者の事情によるところが大きいいため、PRを行いながら引き続き事業を実施し、支援体制を継続する。
絹のみち参画事業者累計数	件	—	7	7	7	7	—	—	(R元) 8		事業者間の連携等様々な要因により、当初の参画企業数から増加が見られなかった。引き続き地場産業である繊維関係の事業者の支援を行う。
人材育成セミナー年間受講者数	人	85	88	114	80	79	6	31	100		コロナ禍の影響により開催数と受講者が減少した。開催方法を検討しながら、今後も引き続き企業のニーズにあったセミナーを開催し、人材育成に努める。
新産業団地年間PR件数	件	—	1,701	609	875	—	—	—	(R元) 700		あがた駅南産業団地は、PR、企業誘致活動の成果により早期に完売することができた。現在開発を進めるあがた駅北産業団地についても積極的なPR活動を実施し、企業誘致を推進する。
02 商業											
地元購買率	⇒戦略プログラム 02 元気なしごとづくりプロジェクト									—	
空き店舗累計活用数	件	41	51	59	59	60	64	69	76		令和元(2019)年度に空き店舗のみならず空き家・倉庫等の遊休資産を対象とした制度に内容を改正したことが受付件数も伸びにつながった。コロナ禍以降も中心市街地への出店意欲が旺盛なため、活用数の増加を図っていく。
市認定商業団体数	団体	23	21	23	23	23	22	20	26		経営者の高齢化に伴う閉店等により会員数が減少し商業会を解散する団体が見られた。今後は、商業会同士のほか個店同士の連携強化により商業会の活性化や魅力ある商業の創出に努める。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。

※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画2






産業・観光

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
まちゼミ年間参加店数	店	—	24	41	53	49	38	37	50		コロナ禍では参加店数の減少があったものの、店主と受講者のコミュニケーションによるお店のファンづくりという目的が達成でき、受講者の高い満足度、顧客の開拓にもつながった。今後も引き続き事業を実施し、目的達成に努める。
03 農業											
認定農業者の農地集積率	%	37.0	39.2	40.6	42.0	47.7	50.8	50.8	65.0		関係機関と連携し働きかけを行った結果、集積率の大きな向上につながった。さらなる農地集積率の向上に向け、農地利用の最適化に対する取組を進める。
年間新規就農者数	人	4	8	17	12	11	16	16	6		農業に興味を持つ人が年々増加しつつあり、農業の魅力発信等の取組に加え、関係機関で連携して相談に対応することで、目標値を上回る実績となった。新たな担い手を呼び込む取組を継続して、新規就農者の確保に努める。
主要園芸品目の年間販売額 ★	億円	16.2	18.4	17.0	16.6	17.3	15.3	16.6	19.0		新品種の選定、高収量・高品質を図るための生産技術の確立と次世代の担い手育成を進め、生産力の向上を図り、年間販売額の増加につなげる。
04 観光											
観光客年間入込数	⇒戦略プログラム 03 まちの魅力発信プロジェクト										
観光アシスタントの登録者数	⇒戦略プログラム 03 まちの魅力発信プロジェクト										
レンタサイクルの年間貸出数	台	1,038	2,745	2,774	2,962	2,636	1,444	3,927	1,250		観光客の利便性の向上、市内回遊の促進に寄与しており、令和3(2021)年度の市制100周年特別展中のデジタルスタンプラリーでは参加者に好評で目標値を大きく上回った。引き続き二次交通の充実に向け、更なる利用促進を図る。
観光客年間宿泊者数	⇒戦略プログラム 03 まちの魅力発信プロジェクト										
05 勤労者対策											
新規高卒就職者の市内就職率	⇒戦略プログラム 02 元気なしごとづくりプロジェクト										
就労支援セミナー等年間受講者数	人	431	356	377	268	107	94	108	500		他の関係機関でも同様のセミナーが開催されていることから、事業を見直し、市主催の就労支援セミナーは令和2(2020)年度をもって終了した。今後は、関係機関との連携を強化し、セミナーや支援制度の情報提供等に努める。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画2

産業・観光

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
クラウドソーシングセミナー年間受講者数	人	—	40	49	25	—	—	—	(R元) 50		クラウドソーシングは認知度は上昇している。その中で本セミナーの受講生からNPO法人を立ち上げ、活動を行う方が出るなど実績も出たところである。今後は、多様な働き方について啓発し、側面的に支援をしていく。
事業者向け啓発講演会等年間開催数	回	1	0	0	0	0	0	0	3		市主催の講演会の実施には至らなかったものの、関係機関等による働き方改革や職場環境改善に関する講演会等の周知や人権パンフレットの作製・配布により啓発を行った。今後も関係機関と連携し、啓発を行う。
06 映像のまち											
映像イベント年間開催数	回	—	6	7	7	5	3	0	5		令和2(2020)年度以降はコロナ禍によりイベント開催が困難となり、目標値を下回る結果となった。今後は、ロケ地を活用したロケツーリズムを行い、観光客を誘致する。
撮影支援ボランティア登録人数	人	—	301	580	865	952	—	—	600		目標値を上回る伸びを見せていたものの、コロナ禍により撮影が中止となったため、ボランティアの募集ができなかった。今後は、コロナの感染状況を見定め、必要に応じて募集を行っていく。
応援企業登録数	事業所	—	135	157	180	195	195	195	100		年々増加傾向にあったが、コロナ禍で撮影が中止となったことに伴い、応援企業(ロケ地)は、登録数は横ばいとなった。今後は、撮影支援を通して、新たな協力企業の獲得を目指す。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
 ※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画3

健康・福祉

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
01 子ども・子育て支援											
親子の絆づくり講座(初めて出産した母親の仲間づくりと育児ストレスの解消を目的としたプログラム)参加率	%	16.0	25.0	34.0	28.0	25.0	15.0	16.0	80.0		令和3(2021)年度は、コロナ禍の状況から、開催期や定員20組を10組に縮小したため参加率は低くなっている。より多くの親子に参加してもらえるよう開催期や開催回数を増やす工夫をするとともに、関係課との連携を強化し、初めて出産した母親の育児を支援する。
放課後児童クラブ数 ★	か所	42	48	50	53	53	53	53	※ 57		コロナ禍の状況から、リモートワークや勤務時間の短縮等により自宅で児童を見られる方の割合が増えたことも影響し、利用を希望する人数が増加せず、クラブの増設を必要としなかった。今後は地域ごとの利用希望児童数を見ながら必要な地区に開設できるような状況を確認しながら進めていく。
乳幼児健診受診率	%	96.8	96.5	96.7	97.7	98.2	96.5	95.0	98.0		受診者は令和元(2019)年度をピークにやや減少しているが、未受診者に対して保健師が連絡し、状況把握に努めている。今後は受診率向上のため医療機関との連携を図りながら受診率向上に努める。
高等職業訓練促進給付金等事業による資格取得者累計人数	人	32	45	47	52	56	63	64	81		対象となる資格取得の養成機関において、1年以上のカリキュラムを修業し資格取得することが支給要件となり、一定の期間を要することから目標値には届かなかった。今後も本事業の周知及び相談機能の充実を図り、就業支援及び自立支援策の推進に取り組む。
【市民アンケート】子どもを産み育てる取組みの満足度	⇒戦略プログラム 01 結婚・子育て・学びあいプロジェクト										
【市民アンケート】仕事と子育ての両立支援の満足度	⇒戦略プログラム 01 結婚・子育て・学びあいプロジェクト										
02 障がい者福祉											
障害者相談支援センター相談件数(延べ)	件	6,073	6,217	7,766	8,466	8,013	5,127	4,232	6,400		令和元(2019)年度までは増加傾向にあったが、コロナ禍ではセンターへ来所しての相談が大きく減少した。電話やメールでも相談ができることを周知するとともに、相談体制の充実を図る。
居宅介護等サービス利用者数	人	96	105	105	101	102	101	99	106		コロナ禍における外出控えから、外出時に利用する同行援護の利用が減少した。今後もサービスを充実し、在宅で自立した生活を支援する。
児童発達支援等サービス利用者数	人	239	297	343	366	424	437	493	298		放課後等デイサービスの利用件数の増加が目標の達成につながった。今後も個々のケースに応じたきめ細やかな対応により障がい児通所支援を促進する。
就労系サービス利用者数	人	270	337	376	422	467	491	510	327		就労継続支援B型の利用件数の増加が利用者数の増加につながった。今後も個々のケースに応じたきめ細やかな対応により、就労支援を促進する。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。

※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画3





健康・福祉

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
03 高齢者福祉											
元気アップサークル数	⇒戦略プログラム 05 スマートウェルネスシティプロジェクト										
元気アップサポーター登録者数	人	207	283	315	346	377	347	385	487		サポーター登録数は微増傾向であった。今後も地域へ運動の普及活動を行うサポーター養成講座を継続し、サポーター自身も生きがいをもち活動できるよう支援する。
高齢者ふれあいサロン数	か所	193	203	195	193	176	176	171	228		コロナ禍のため、新規開設には繋がりにくく、既存のサロンにおいても、開催を見送られる傾向にあった。概ね各自治会に開設されている状況にあり、新規開設数は毎年1自治会程度になっている。今後も社会福祉協議会への委託事業として新規開設時の補助を継続する。
認知症サポーター数	人	11,148	15,676	17,567	19,227	21,070	21,252	21,713	25,000		サポーター延数は微増傾向であった。今後も認知症の方やその家族の地域の支援者となるサポーターを地域包括支援センターや認知症地域推進員により養成し、地域の理解を深めていく。
介護施設等入所定員	人	1,390	1,485	1,528	1,665	1,864	1,932	1,932	1,798		公募の結果、介護施設を新規に複数開設することができ、目標値を上回る定員を確保することができた。未だ入所待ちの方がいることから、今後も入所定員を増やすため施設整備等に取り組む。
04 地域福祉											
地区社会福祉協議会支部数	か所	183	183	185	185	185	186	186	222		地域の実情の違いもあり、微増にとどまっている。コロナ禍で地区社協の活動も制限されているが、未設置地区での支部設置に向けて引き続き働きかけていく。
就労により生活保護から自立した世帯数	世帯	22	21	21	19	16	6	8	50		コロナ禍による求人の減少で、就労による自立が厳しくなり、実績値が減少している。ダブルワーク等の就労支援を強化し、引き続き被保護者の支援を行う。
05 保健・医療											
健康寿命	⇒戦略プログラム 05 スマートウェルネスシティプロジェクト										
【市民アンケート】健康づくりを実践している方の割合	⇒戦略プログラム 05 スマートウェルネスシティプロジェクト										
健幸マイレージ参加者数	⇒戦略プログラム 05 スマートウェルネスシティプロジェクト										

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画3

健康・福祉

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
06 社会保険											
特定健康診査受診率 ★	%	32.5	35.5	35.9	35.7	33.1	31.2	(速報値) 30.3	60.0		未受診者の特性に合わせた受診勧奨通知の発送や啓発を行ったものの、目標の達成には至らなかった。より効果的な受診勧奨を行うため、AIを活用し、特に受診率が低い40～50歳代の働き盛り世代に向けて特定健診受診の必要性を啓発する。また、40歳前の年代に対して、40歳からの毎年受診を動機づけるような啓発を行う。
特定保健指導実施率 ★	%	26.1	22.4	22.2	22.6	23.2	17.8	(速報値) 23.3	60.0		特定健康診査の70%以上を占める個別医療機関での特定保健指導の実施率が約12%と低い。特定保健指導を実施している医療機関が9か所しかないことが原因であるため、特定保健指導を実施する医療機関数を増やし、実施率の向上を図る。
国民健康保険ジェネリック医薬品利用率	%	63.8	77.5	81.0	85.5	86.5	87.3	87.0	80.0		目標値を早期に達成したが、近年は、全国的なジェネリック医薬品の供給不足等の影響もあり、頭打ちの状況である。公民館等での出前講座やジェネリック医薬品差額通知の発送等で被保険者への周知・啓発を引き続き行う。
ケアプラン点検実施事業所数	か所	18	6	9	7	12	12	9	20		県が実施する定期的な養成研修参加等、介護支援専門員の資質向上の機会が増え、本事業の実施内容と重複する部分が生じた。令和3(2021)年度から、居宅介護サービス計画がより介護支援専門員のアセスメント力を求められる様式に変更となったことから、現状と一致した事業内容を検討し、介護支援専門員の特性を伸張しつつ、給付費適正化のための助言を行う。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画4

都市基盤

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
01 土地利用											
市街化区域面積	ha	3,187	3,206	3,206	3,206	3,206	3,206	3,231	3,217		新たな産業団地の開発にあたり、農林業との調整が図られたあがた駅北地区や既に市街地が形成され、将来にわたり適切な土地利用を図るため、八坂第二工業団地、大前地区を市街化区域に編入した。
市街化調整区域面積	ha	14,589	14,570	14,570	14,570	14,570	14,570	14,545	14,559		今後も、人口や産業の現状及び将来の見通し並びに社会情勢を踏まえ、区域区分の変更を検討する。
02 都市景観											
建築・景観賞表彰件数	件	95	102	105	110	—	116	—	113		良好な都市景観の形成やまちづくりに対する市民意識の高揚などを図るための顕彰制度であり、令和元年度から隔年での開催となったが、目標は達成できた。引き続き、歴史・文化・自然と人が調和し、足利らしい景観にあふれた魅力ある美しいまちづくりを目指す。
景観重点地区数	地区	—	—	—	1	—	—	—	1		足利学校・饅阿寺周辺地区については、地域住民とまちなみづくり協議会を組織して、本市を代表する歴史的景観の保全・活用を目指し、一体的・重点的に景観づくりに取り組むため、本地区を景観重点地区に指定した。今後も、足利学校・饅阿寺周辺地区を足利の顔となる風格・品・魅力ある景観形成に努める。
歴史的まちなみ修景補助件数	件	47	50	51	53	54	54	54	62		新築や改築時などにまちなみ修景基準に沿った意匠や形態に補助する制度であるが、新築や改築などの件数が少なかったことから、目標を達成に至らなかった。今後も、地域の皆様と歴史的雰囲気をもとにした魅力あるまちなみの整備・創出に取り組む。
03 市街地整備											
土地区画整理事業換地処分面積	ha	746	748	748	748	748	748	748	785		大日東地区については、平成28(2016)年度に換地処分となった。また、山辺西部第一地区については、移転交渉等が難航したため、目標値を下回る実績となっているが、令和9(2027)年度に向けて進捗を図る。
土地区画整理事業施行中地区道路整備率	%	29.7	36.5	37.3	40.0	40.9	41.7	42.2	41.8		山辺西部第一・第二地区について、道路整備を見据えた効率的な移転計画を行うことで、目標値を上回る実績となった。引き続き整備の進捗を図る。
04 道路・交通網											
道路整備延長	km	784.8	792.9	794.1	796.7	799.3	802.8	806.2	805.8		関係機関や地元との調整を適切かつ迅速に行い、速やかに工事を発注・実施したことで目標を達成することができた。引き続き、同様の対応を行い、利便性や安全性の向上につなげる。
舗装改良延長	km	1,129.1	1,134.9	1,135.4	1,136.6	1,138.2	1,140.8	1,143.4	1,136.1		

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。

※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画4

都市基盤







指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
生活路線バス一般利用者割合	%	36.1	33.9	33.0	35.0	36.1	38.3	41.8	40.0		コロナ禍での対策を講じる中で、通勤及び通学の利用状況が令和元(2019)年度以前の状況に回復したことから目標達成に至った。路線バスの利用者層の分析を行い、全体的な利用者数の向上を目指す。
05 公園・緑地											
都市公園整備箇所数	か所	123	124	125	125	125	127	127	128		計画的な整備によりおおむね目標を達成することができた。今後は、老朽化した施設の更新などを行うとともに、ニーズを考慮した機能や配置の再編により更なる進捗を図る。
都市公園整備面積	ha	182.93	183.14	183.64	183.64	178.22	184.24	185.97	184.03		
運動公園(16か所)利用人数	人	175,491	152,508	148,453	156,238	143,476	120,240	131,090	201,200		コロナ禍では施設の利用制限により利用人数が大きく減少した。制限の緩和以降は利用人数の増加につながるよう設備改善等の検討を行い、利用促進を図る。
ガーデニング講習会年間参加者数	人	904	916	862	671	808	253	761	1,000		コロナ禍の会場使用制限のため、参加者の大幅減となった。感染症対策を講じた上での開講に加え、参加意欲が湧く講習会の企画やPR方法の検討により、新規の層を含めた参加者数の増加を図る。
公園・街路樹愛護会数	団体	65	65	65	65	66	66	66	70		高齢化により活動が困難になっている既存団体が増加しているため、愛護活動が継続できる支援を積極的に行うとともに、新規団体の設立を促進し、市民参加による公園愛護活動を進めていく。
06 河川											
一般排水路等整備延長	km	714.4	715.6	716.7	717.7	719.2	720.8	721.6	719.3		関係機関や地元との調整を適切かつ迅速に行い、速やかに工事を発注・実施したことで目標を達成することができた。引き続き、同様の対応を行い、利便性や安全性の向上につなげる。
河川愛護会数	団体	50	50	50	50	51	51	51	52		河川愛護会の活動目的について賛同を得て、新たな団体の設立を図ることができた。今後も啓発を進めるとともに、市民による河川美化及び河川愛護活動を支援する。
07 住宅											
市営住宅管理戸数	戸	2,198	2,190	2,190	2,190	2,190	2,190	2,154	2,122		入居者の移転への協力をいただきながらの事業であり、今後も、足利市公共施設再編計画との整合を図りつつ、丁寧に事業を進めていく。
市営住宅住戸改善戸数	戸	93	137	158	177	186	200	200	262		市営住宅への入居申込みの多くが高齢者世帯であるため、低層階の住戸改善を軸に進めた結果、約6割の改善が完了した。今後は、足利市公共施設再編計画事業の進捗を勘案しながら、住戸改善を進める。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。

※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画4

都市基盤

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
09 交通安全											
防護柵総延長	m	53,282	54,167	54,867	55,067	55,169	55,181	55,226	54,822		目標値を上回る交通安全施設を整備により、歩行者や自転車利用者の安全の普及に寄与することができた。今後も、交通管理者など関係機関と連携し、環境整備を進めより一層の安全対策に取り組む。
道路反射鏡総設置数	基	1,002	1,055	1,082	1,104	1,124	1,143	1,150	1,142		
交通安全教育年間受講者数	人	6,577	7,044	6,484	5,732	5,031	2,066	2,152	7,000		コロナ禍による交通安全教室の中止や人数制限のため、受講者数が減少し、目標達成には至らなかった。今後も感染防止対策を行いながら、教室を実施し、受講者の増加を図る。
10 水利用											
老朽铸铁管の更新	m	14,750	17,309	19,343	21,823	24,362	26,434	27,378	30,859		事業を進める中で更新する管路延長の錯誤が判明した。このため、実績値は低い。目標値を正しい管路延長の27,807mに修正をした。実績値は98%となり、概ね計画通り達成できた。今後も引き続き更新に取り組んでいく。
工業用水1日当たりの契約水量	m ³	22,608	22,608	22,608	22,608	22,608	22,608	22,608	22,608		継続して契約水量を維持することができた。今後も施設・設備の更新を計画的に行いながら、企業活動を支える工業用水の安定供給に努め、契約水量を維持する。
農業用水1日当たりの使用量	m ³	1,010,409	987,997	981,477	962,200	945,729	939,577	923,418	993,625		農地面積の減少に伴い、農業用水の使用量が減少した。今後も、農業用水の安定供給のため、施設・水路の適切な維持管理に取り組む。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画5

環境・安全


指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
01 自然環境											
温室効果ガス排出量	千t-CO ₂	(H24) 1,135.7	(H25) 1,095.0	(H26) 1,037.0	(H27) 977.0	(H28) 951.0	(H29) 926.0	(H30) 920.0	(R2) 1,014.6		省エネルギーの推進が順調な排出量の削減につながった。引き続きカーボンニュートラルに向け、さらなる削減を目指し、まずは啓発活動を主体に地球温暖化対策を推進する。
住宅用省エネルギー対策エコポイント累計交付者数	人	137	154	144	126	135	172	190	184		省エネルギー意識の普及と向上により交付者数が増加した。カーボンニュートラルに向け、更なる事業拡大を検討し、環境負荷の少ないライフスタイルの普及を行う。
家庭用廃食用油累計回収量	kg	11,663	14,114	15,402	15,006	15,633	17,293	14,620	15,629		コロナ禍により事業者の排出量は減少したが、家庭の排出量は増加傾向にある。水質をはじめとする環境保全のため、今後も事業を継続するとともに排出ルールの徹底などの啓発も行う。
環境観察会等年間参加者数	人	266	255	234	198	280	0	71	316		悪天候やコロナ禍による事業中止もあり、目標参加者数を達成することができなかった。開催形式について検討し、環境保全意識の向上のため今後も事業を継続する。
02 環境衛生											
ごみの年間排出量	t	60,659	59,366	58,813	58,652	57,960	57,194	55,896	56,002		コロナ禍の企業活動への影響による事業系ごみの減少もあって、排出量は大きく減少した。家庭ごみについては総量は減っているものの、1人1日あたりの排出量は横ばいの状況である。発生抑制や減量化を促進するための啓発を強化し、市民、事業者の理解と協力を得ながらごみの排出抑制と減量化を図る。
1人1日当たりのごみの排出量	g/日・人	1,084	1,073	1,070	1,078	1,073	1,071	1,059	1,073		
リサイクル率	%	14.6	13.5	13.0	12.9	12.5	12.0	11.8	17.9		今までごみステーションに排出されていた資源物がスーパー等が行っている回収に排出されていることが推測される。今後はスーパー等での回収量を把握するとともに、容器包装プラスチックの資源化を新たに開始するなど数値の向上に努める。
公共下水道、合併処理浄化槽等の普及による、し尿汲取世帯数	世帯	5,471	5,289	5,152	4,905	4,517	4,383	4,230	3,370		下水道や合併処理浄化槽への転換は進んでいるものの、多額の工事費がかかることから想定ほど普及が進まなかった。市の助成制度の拡充の検討や普及啓発による更なる促進を図る。
公害苦情・相談年間件数	件	73	71	72	46	58	58	50	45		相談件数は減少傾向にあり、今後も公害苦情の迅速かつ適切な処理のため発生源に対する調査・指導・監視を継続するとともに再発防止のため自主的な監視体制を促す。
03 下水道											
汚水整備面積	ha	2,828	2,836	2,838	2,841	2,863	2,865	2,875	2,874		市民の接続要望に重点を置きつつ、他事業の進捗と合わせた計画的な整備により目標を達成した。引き続き同様の方針による整備に努め、公共用水域の汚濁防止と生活環境の改善のため市街地における汚水処理を推進する。
雨水整備面積	ha	1,646	1,646	1,646	1,646	1,646	1,646	1,646	1,655		当初計画した雨水幹線の一部については他事業により整備を実施した。市街地における雨水整備に向けて、浸水多発地域や近年多発する豪雨災害の状況等を踏まえた公共下水道雨水整備のあり方の検討のため引き続き調査・計画を行う。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。

※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画5

環境・安全

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針	
管渠改築延長	m	8,754	12,126	14,676	18,079	21,064	23,825	26,108	14,514		不明水対策については、カメラ調査により不明水が確認された箇所 の改築工事を行っている。今後も道路陥没等による事故を未然 に防ぐために、調査結果をもとに改築工事を進める。	
下水道年間新規接続件数（新設及 び便槽等の改造）	件	924	1,028	978	1,012	758	584	590	900		年間新規の接続件数は減少しているものの、接続率は上昇してい る。今後も各種助成制度の活用や普及啓発などにより、下水道接 続率の向上に努める。	
04 防災												
防災リーダー認定者数 ★	人	1,521	1,731	1,827	1,924	1,961	1,961	1,961	2,140		令和元年東日本台風を経験し、地域における防災リーダーの必要 性はますます高まっている。今後、研修内容をこれまでの災害対 応を踏まえた内容に刷新し、リーダー育成を進める。	
住宅用火災警報器の設置 率・世帯数	設置率	%	56.0	66.2	74.5	73.4	74.0	74.4	74.5	80.0		設置率は近年増加しており、今後も設置率の更なる向上を目指 し、住宅防火を推進する足利市女性防火クラブ連絡協議会など防 火団体とともにPR活動に力を入れ、普及啓発を行う。
	世帯数	世帯	34,259	43,405	49,098	48,809	49,622	49,890	50,227	48,900		目標値は達成したものの、コロナ禍により例年実施していた普及 啓発活動が行うことができなかった。普及啓発活動の形式を検討 しつつ、今後もイベント等を通してPR活動を行い、設置世帯数の 増加を目指す。
Eメール消防防災情報配信者数	人	11,731	11,963	12,188	12,509	13,422	15,033	14,861	14,400		防災意識の高まりや日頃の普及啓発活動の成果もあり多くの市 民に利用いただいている。災害時などの市民への有効な情報伝 達手段であることから、ホームページ等を通じたPRに加え、SNS を積極的に活用した広報活動を行う。	
心肺停止傷病者に対して市民によ る心肺蘇生の実施率	%	36.7	39.6	32.8	37.9	38.6	28.4	32.7	46.0		資器材の整備を進めるとともに、コロナ禍でも開催可能な形式の 応急手当講習等を実施し、応急手当の普及啓発に努める。	
05 防犯												
防犯灯設置数	灯	14,800	14,813	15,098	15,230	15,373	15,481	15,589	15,850		地域の安全・安心の確保のためには、防犯対策に有効な箇所へ の設置が必要であることから、設置箇所等の検討を行いつつ、事 業を継続する。	
防犯カメラ設置数	台	4	7	10	12	13	15	16	28		犯罪が起りにくい環境を整備していくため、通学路を中心とした より効果的な設置について検討しつつ、増設する。	
06 消費生活												
消費者教育年間受講者数	人	2,806	2,927	2,040	2,137	1,558	238	692	3,100		災害やコロナ等により消費生活講座の依頼が減少し、受講者数は 大幅に減少した。オンライン講座や短時間のミニ講座等も含め 様々な機会を受講できるよう講師派遣についてPRし、受講者数の 増加を図る。	
リーダー養成講座累計受講者数	人	40	41	41	42	43	43	43	52		県主催の養成講座受講を条件としたが、開催時間や移動距離な どの関係から受講希望者が伸び悩んだ。今後は県以外の講座等 にも対象を広げ、受講者を増やし、消費生活リーダーの確保を行 う。	

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。

分野別計画6

都市経営

指 標	単位	基準値 H26(2014)	H28(2016) 実績値	H29(2017) 実績値	H30(2018) 実績値	R01(2019) 実績値	R02(2020) 実績値	R03(2021) 実績値	目標値 R03(2021)	達成 状況	実績に対する評価と今後の方針
01 市民参画											
ホームページ年間アクセス数	件	1,706,000	1,742,035	1,968,640	2,052,123	2,492,197	5,063,227	7,943,694	3,456,000		コロナ関連の情報入手のほか、SNSを積極的に活用したホームページへの誘導がアクセス数の飛躍的な伸びにつながった。スマートフォンの普及により時間や場所に関係なく情報が得られるようにホームページの内容の充実に努める。
公募枠を導入している審議会等の数	件	10	12	14	13	12	13	14	16		委員会・審議会の中には、公募枠の設置がなじむものとなじまないものがあるが、多くの人の声を聴く機会を増やすため、今後も公募枠を増やせるよう取り組む。
02 市民活動(市民力)											
自治会活動顕彰件数 ★	件	—	8	12	16	20	23	27	28		今後とも、模範的な自治会を顕彰し、自治会活動及び市民の自主的なまちづくり活動につなげる。
市民と行政との協働事業数 ★	件	114	114	148	152	149	149	153	150		着実に協働事業数の増加に取り組むことができている。まちづくりには市民や地域の力が大きなものとなることから、引き続き全庁的に協働事業に取り組む。
市民活動支援補助金年間事業数	件	6	6	7	6	4	4	4	6		令和2(2020)年度より団体構成員の平均年齢が30歳以下の団体を対象とした新たな若者支援コースを新設し利用の促進を図った。今後も、ホームページ等での周知と併せ、新規に設立したNPO法人にも活用を促す。
03 シティプロモーション											
【市民アンケート】本市に愛着を持つ市民の割合 ★	ポイント	—	82.2	83.0	82.5	80.5	83.6	80.8	前年比 +1		これまでの実績はおおよそ8割を超える水準で推移しており、本市に対する愛着の高さが伺える。今後についても、本市に対するシビックプライド醸成を意識した事業を展開する。
移住相談会等の参加者数	人	—	48	36	93	30	30	34	40		移住定住相談センターの開設により相談者数を増やすことができた。今後は利便性向上のため、東武足利市駅内に移転し、さらなる相談者数の増加につなげる。また、県との連携による各種セミナー等へ積極的に参加し移住希望者との面会を重ねていく。
移住体験ツアー等移住促進事業の年間参加者数	人	—	20	19	22	0	0	24	100		実際に足利市へ来て、本市で暮らす人たちと面会することで、暮らしのイメージが伝わったという声が大きく、移住・定住の促進に一定の効果があった。今後もコロナ禍の状況を見つつ開催していく。
05 情報・通信											
パソコン講座等年間受講者数	人	72	75	80	51	—	—	70	100		日常生活の中でより利便性の高まったスマートフォンの使用が機会が多くなっている状況を踏まえ、今後はスマートフォン教室を実施する。 ※令和3(2021)年度はスマートフォン教室受講者数の参考数値。

★印はまち・ひと・しごと創生総合戦略と共通の指標です。
※印の目標値は「足利市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において修正を行った数値です。